



## 1年目は積極的に

近森 琉暉さん(24歳)

両親と祖父母が米・キュウリなどを育てていたこともあり、小さいころから農業に興味がありました。農業高校に通っていた時、祖母から「やつたらやつた分だけ結果が出る」という農業の魅力を聞き就農を決めました。県外の農業大学を卒業し、現在は研修中。今年8月からキュウリ農家としてスタートします。1年目は、研修先の指導農業士さんや周囲の先輩農家さんに積極的に質問することや、部会に入り現地検討会にも参加するなどして、栽培管理を学んでいきたいと思います。

高知龍馬マラソンには今年3回目の出場で、今年は父とペアリレーを完走しました。

## リピートしてもらえるトマトを

横山 美保さん(56歳)

前職は美容部員として働いていましたが、夫が脱サラしたことをきっかけに約20年前に就農しました。現在は37アールのハウスでシュガートマトをパートさんと協力しながら栽培し、JAへ出荷するほか道の駅などで販売しています。トマトはデリケートな野菜なので、その日の温度・湿度によって変えるかん水、肥料の配合・防除にはとても気を付けています。そのほか、パック包装下には必ず紙パッキンを敷きキズ防止と湿気取りに努めています。

リピートしてもらえるような、強い甘みだけではない、酸味も楽しめる高品質なものを目指して作っています。ぜひ一度、お試しください！



東諸木より



## 資格を取ることが好き

山内 みどりさん(55歳)

結婚後、家計を支えるために通信教育で医療事務の資格を取り、5年ほど実務を経験しました。その後介護福祉士を取得し、現在は病院のケアマネージャーとして介護保険や介護サービスの調整に関わる仕事をしています。女性部には、友人がJAのワークショップに参加したというSNSを見たことをきっかけに2年前に加入し、これまでにタレ・こんにゃく・みそ作りやリース作りに参加しました。

資格を取ることが好きで、FP2級・セカンドキャリアアドバイザー・コーチングなどの資格を持っています。将来的には、介護の知識と資格を生かし、困っている人の助けになれたらと思っています。

## 農作業を通じて支援を

(株) いわた農園 代表取締役  
岩田 武彦さん(52歳)

大学卒業後、実家のキュウリ・メロン農家を継ぎ就農しました。自分が高齢になり体力が落ちても規模を縮小することなく、事業継承しつつ地域農業を守ることを考え、11年前に法人化を決めました。現在は(株) いわた農園の1.5ヘクタールのハウスで、トマト・キュウリ・ショウガをメインに栽培しています。7年前から障がいのある方の雇用に本格的に取り組み、農作業を通じて個人の目標・目的達成の支援を行っています。

休みの日にはたまに海釣りに行っています。最近は大きなタイを釣り上げました。



## 5 高知地区 アンテナショップ協定締結 地産外商で連携を



協定を結んだ竹中社長（右から2人目）ら

(株) とさのさとと（一社）高知県地産外商公社は2月7日、高知県が大阪市梅田に設置するアンテナショップを通じた県産品の地産外商の取り組み強化を目的に協定を締結しました。とさのさとのノウハウを生かしアンテナ店で扱う商品や催事の充実を図ることが目的です。

公社の松村和彦代表理事、とさのさとの竹中義博社長、JA高知県の秦泉寺雅一組合長が出席し、浜田省司高知県知事が立会人を務めました。竹中社長は「これまで培ってきた外商の機能を生かし、県内農家や加工業者とアンテナショップをつなげたい」と話しました。

# 6 高知地区 JA高知県カイゼン報告 7 集出荷場が取り組み発表



最優秀賞を受賞した「みどり市」の前田加奈店長<sup>左</sup>と特産販売課の彼末拓さん<sup>右</sup>

JA高知県は2月8日、2023年度「JA高知県カイゼン報告会」を高知市で開きました。地区から選出された7集出荷場（部署）が取り組みを発表。最優秀賞に高西地区・高西営農経済センター販売課、優秀賞に営農販売事業本部特産販売課を選びました。

最優秀賞を受賞した高西営農経済センターは直販所「みどり市」のカイゼンについて発表。作業スペースのレイアウト変更によってミスを防ぐ仕組みなどを発表。優秀賞を獲得した営農販売事業本部特産販売課は、取扱量の増加に伴う業務量の増加による事務・包装作業の作業効率化などについて発表しました。

## 3 高知地区 フレミズ活性化を 発表・料理で交流！



協力して調理する部員ら

JJA高知女性組織協議会フレッシュユース部会は2月1日、高知市で2023年度フレッシュユース交流研修会を開きました。部員の二一ズに合った学習テーマを出し合うことで部員同士の感性を磨き、組織の活性化を図ることなどが目的です。

フレッシュ活動「わたしの一歩」作文発表、各組織の活動報告や意見交換、料理教室が行われ、部員12人が参加。料理教室では、「現代の名工」島田和幸シェフの指導で「おうちで簡単シェフご飯レツン」が行われ、参加者は「ロールキヤベツ」など7品を調理しました。参加者は「他地区的部員と楽しく交流しながら料理できて良かった」と話しました。

# 4 高知地区 鑑定技術競う 2023年度農産物鑑定会



米の等級を鑑定する検査員

J A グループ高知農産物検査協議会は2月5日、農産物検査の公正性・信頼性の確保を図ることなどを目的に、2023年度農産物鑑定会を高知市で開きました。JAの農産物検査員の資格を持つ65人が参加し、試料の品位等級を鑑定し玄米の等級判定の正確さや速さを競いました。最高得点者は南国営農経済センターの松村登三雄さん、次点は同センターの北村幸司さんで、2人は3月の全国鑑定会に進みます。同協議会会長で（株）JAエナジーこうちの川村勘吉さんは「JAグループの農産物検査体制の強化のため、鑑定技術の向上を目指して欲しい」と激励しました。

# Monthly Topics

## 高知 できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



キュウリの王道・甘酢漬けでランナーを応援しました！

# 1 高知地区

## 県産品でランナーを応援! 龍馬マラソン2024



春野営農経済センターは2月18日、高知龍馬マラソン2024に協賛し、給水所でランナーを応援しました。今大会は83395人が出走。第3給水所ではトマト部会が、第8給水所ではキュウリ部会が出展し、JA職員が春野町の野菜をPRしながら提供しました。

両部会は各5000食分ずつ、新鮮なトマトと部会オリジナルのレシピ「キュウリの王道・甘酢漬け」を提供しランナーをもてなしました。

## **2 高知地区**



表彰状と記念品を受け取る甲藤支部長 写真右

J A 高知女性組織協議会は2月20日、南国市で第17回高知県J A女性セミナーを開きました。J A女性組織の活動成果を共有するとともに、組織間の連携と活性化を図ることが目的的。J A女性組織活動体験発表や講演などが行われ、女性部員やJ A職員など約170人が参加しました。

J A女性組織活動体験発表では3組織が発表し、春野地区弘岡下支部の甲藤繁子支部長が最優秀に選ばれました。甲藤支部

長は「未来へつなぐノート」と題し、代々受け継がれてきた女性部活動を記した5冊のノートやフレッシュミニズ部会との活動を紹介。「先人たちの知恵やJJAに対する想いなどを昭和から令和まで受け継いできたノートのように、次の世代につなげる」とが女性部活動だ」と話しました。

甲藤支部長は「令和6年度中四国地区JJA女性組織リーダー研修会」で高知県代表として発表する予定です。

高知農業改良普及所より

# ドローンの農業における活用場面

近年、ドローン技術の進展はめざましく、様々な分野において導入が進んでいます。農業分野においても、現場の人手不足が深刻な問題となっている中、農業用ドローンの活用は急速に拡大しています。活用が期待される場面として、薬剤散布、肥料散布、播種、受粉、農産物等の運搬、ほ場センシング(画像を活用した生育診断等)、鳥獣被害対策等が挙げられます。

今回は高知農業改良普及所管内での取り組みをご紹介します。

## 1. ユズにおける薬剤散布

普及所では、土佐山地区でドローンによるユズの病害防除作業を支援しており、令和5年度は延べ面積975aでドローンによる防除が実施されました(写真1)。また、実証試験では、ドローンによる防除が手散布と同等程度の防除効果があることも確認されました。



写真1 ドローンによるユズへの薬剤散布

## 2. 露地ショウガにおける薬剤散布

近年、ユズだけでなく、ショウガにおいてもドローンで使用可能な薬剤の種類が増えました。一方、慣行の防除に比べ、ドローンによる病害虫防除は散布する液量が少ないため、防除効果を不安視する声が聞かれました。そこで、ドローンによる病害虫防除の実証試験を実施し、手散布と同等の防除効果及び散布時間の短縮を確認しました(写真2)。特に、散布時間については、従来の手散布と比べ、約1/5程度に減少したことから、労働力負担の軽減に繋がることが期待されています。



写真2 ドローンによる露地ショウガへの薬剤散布

お問い合わせ先：中央西農業振興センター高知農業改良普及所  
(TEL.088-861-0711) (FAX.088-861-0660)



春野営農経済センターより

## イノシシ・シカによる被害が増えている理由について

今までイノシシ・シカの被害がなかった地区でも、被害に遭うケースが増えています。なぜ被害が拡大しているのかーその理由としては、

- ①動物の数自体が増えている
- ②里山にはエサがあると学習し、出没してくるようになった

の2つがあります。イノシシ・シカともに高い繁殖力を持ち、全く捕獲しない場合、数年で個体数が倍になります。高知県では毎年イノシシ・シカ合わせて約4万頭捕獲していますが、それでも被害は抑えきれていません。また動物が田畠を魅力的なエサ場だと認識すると、頻繁に里山に下りてくるようになります。地区内に放棄果樹・野菜の残渣など動物を誘因するものがある、また藪や耕作放棄地など動物の隠れる場所があることが、被害の拡大につながります。

対策としてはもちろん捕獲も重要ですが、それ以上に、田畠を柵で囲う物理的防除、藪の刈り払いや耕作放棄地の管理などの環境整備を実施することが大切です。まずはできるところから始めてみませんか。

## 事業を活用して防護柵を設置しよう

イノシシ被害を防ぐために最も有効的な対策として、ワイヤーメッシュ柵や電気柵の設置があります。「でも柵の購入にお金がかかるから…」とためらっている方に朗報です。高知県の多くの市町村には、柵の資材費の一部を補助してくれる事業があります。

\*ただし、農作物等の販売農家のみが対象となっています。ご注意ください。

申請の流れは、以下のようになります。

- ①お住まいの市町村役場の担当課に連絡し、事業を活用したい旨を伝える。
- ②ほ場の計測や圃場の写真を撮る。
- ③必要な書類を揃えて、市町村役場の担当課に提出する。
- ④役場の許可が下りたら、資材を購入し設置を行う。

中には「柵の設置の仕方が分からない」という人もおられると思います。鳥獣被害対策専門員は柵の設置時に現地に伺い、設置方法のご指導を致しておりますのでご安心ください。事業の申請時期ですが、多くの市町村で4月～5月から開始となっております。興味ある方はぜひご連絡ください。



WM柵



電気柵

お問い合わせ先：鳥獣被害対策専門員 (TEL.090-3189-0373)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

- 仲の良い友達と3人で農園期に直販所巡りに行くのが楽しみなので、今回の特集は最高でした。
- (春野町仁ノ) 56歳 (高知市北秦泉寺) 37歳
- 直販所大好きです。紹介されている商品も気になるものばかりでした。一度行ってみたいですね。
- (春野町弘岡下) 53歳 (高知市比島町) 72歳
- こうぐり片手に旅に出たくなりました！
- (高知市升形) 60歳 ▶特集1では、「四国のホットな直販所（前編）」と題し、愛媛県と香川県の直販所を紹介しました。広報担当者が直接現地に赴き、直販所の空気感が伝わるような写真を撮影しています。私もこうぐり片手に旅に出たくなりました。
- 地域のことが良く分かつて良いです。森山のこ
- んなにやぐ毎年頂きます。
- (春野町森山) 82歳
- ▶月号の特集1では、「四国のホットな直販所（前編）」と題し、愛媛県と香川県の直販所を紹介しました。お米・ご飯に対する子供たちの紹介しました。お米・ご飯に対する子供たちの直販所の空気感が伝わるような写真を撮影してますすぐな気持ちが伝わる作文・図画が合わせて173点寄せられました。たくさんのご応募、ありがとうございます。私もこうぐり片手に旅に出たくなりました。
- 作文を読んで、この気持ちを持つて大人になつてくれることを期待します。図画、本当に皆さんお上手で、ほのぼのします。
- (高知市升形) 60歳 ▶特集2では、第48回「ほん・お米とわたし」作文・図画 高知県コンクールの特選作品を紹介しました。お米・ご飯に対する子供たちの直販所の空気感が伝わるような写真を撮影してますすぐな気持ちが伝わる作文・図画が合わせて173点寄せられました。たくさんのご応募、ありがとうございます。私もこうぐり片手に旅に出たくなりました。
- 地域のことが良く分かつて良いです。森山のこ
- んなにやぐ毎年頂きます。
- (春野町福井町) 63歳
- ▶できごとピックアップでは、30年以上続く森山屋を紹介しました。季節限定メニューもあるそうなので、ぜひ食べに行きたいです。
- 女性部さんの活動は毎回参加の方の楽しそうな笑顔と美味しいお料理に元気や優しさを感じています。キムチ作り、作り方にも興味があり読ませていただきました。
- (高知市十津) 78歳
- ▶「こうぐり」が大好き！これからも楽しみにしております。毎回楽しみにしています。
- (高知市一宮) 29歳
- ▶チクカツ！では、仁淀川地区のあぐりライフケースターでのキムチ作り教室の様子を掲載しました。手を真っ赤にしながら、とても楽しそうに作業をしているのが伝わってきました。
- (春野町森山) 36歳
- ▶嬉しいご意見ありがとうございます。これか

## 車検はお近くのJAへ！

お問い合わせ 春野営農経済センター 購買課 TEL088-828-6111

JAは自動車修理工場と提携し、質の高い車検サービスをご用意しております。  
組合員・利用者のみなさまのお車を第一に考え、安心安全に車検いたします。  
車検はJAにぜひお任せください！



標準技術料金（工賃）のご案内

車種	合計費用 (税込)	標準技術料金(自家用車)						12ヶ月点検 (税込)	基 本 作業料		
		法定費用(非課税)			法定費用 (税込)	車検基本料(税込)					
		重量税	自賠責 保険料	印紙代	代行料	基 本 作業料	保安確認 検査料				
軽自動車	52,240 +重量税	17,540	2,200	7,000	17,500	8,000		10,000			
小型自動車 (~1.0t)	54,350 +重量税	17,650	2,200	7,000	18,500	9,000		10,000			
中型自動車 (~1.5t)	54,350 +重量税	17,650	2,200	7,000	18,500	9,000		10,000			
大型自動車 (~2.0t)	55,450 +重量税	17,650	2,300	7,000	19,500	9,000		10,000			
普通自動車 (~2.5t)	56,950 +重量税	17,650	2,300	7,000	20,000	10,000		10,000			